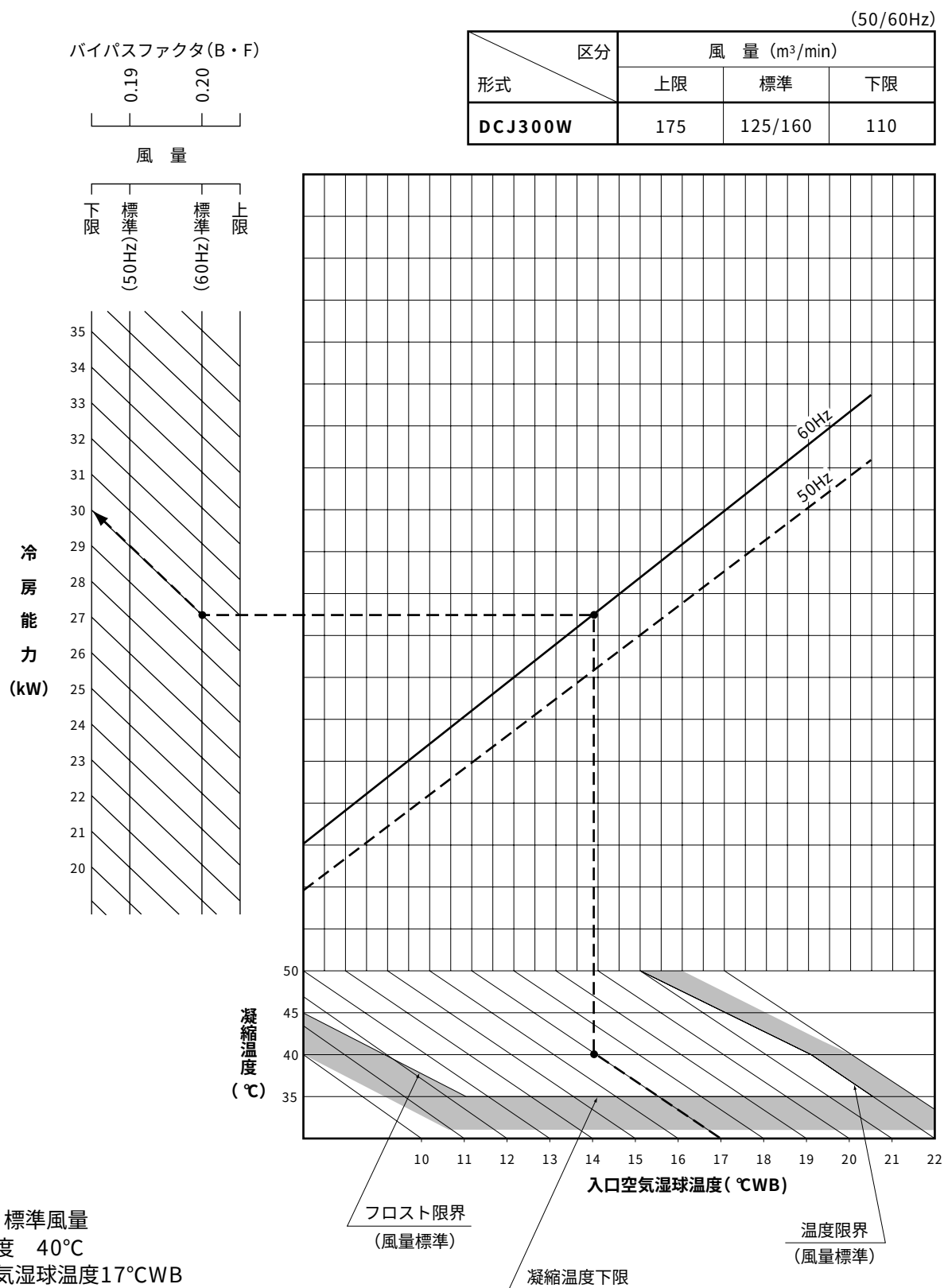


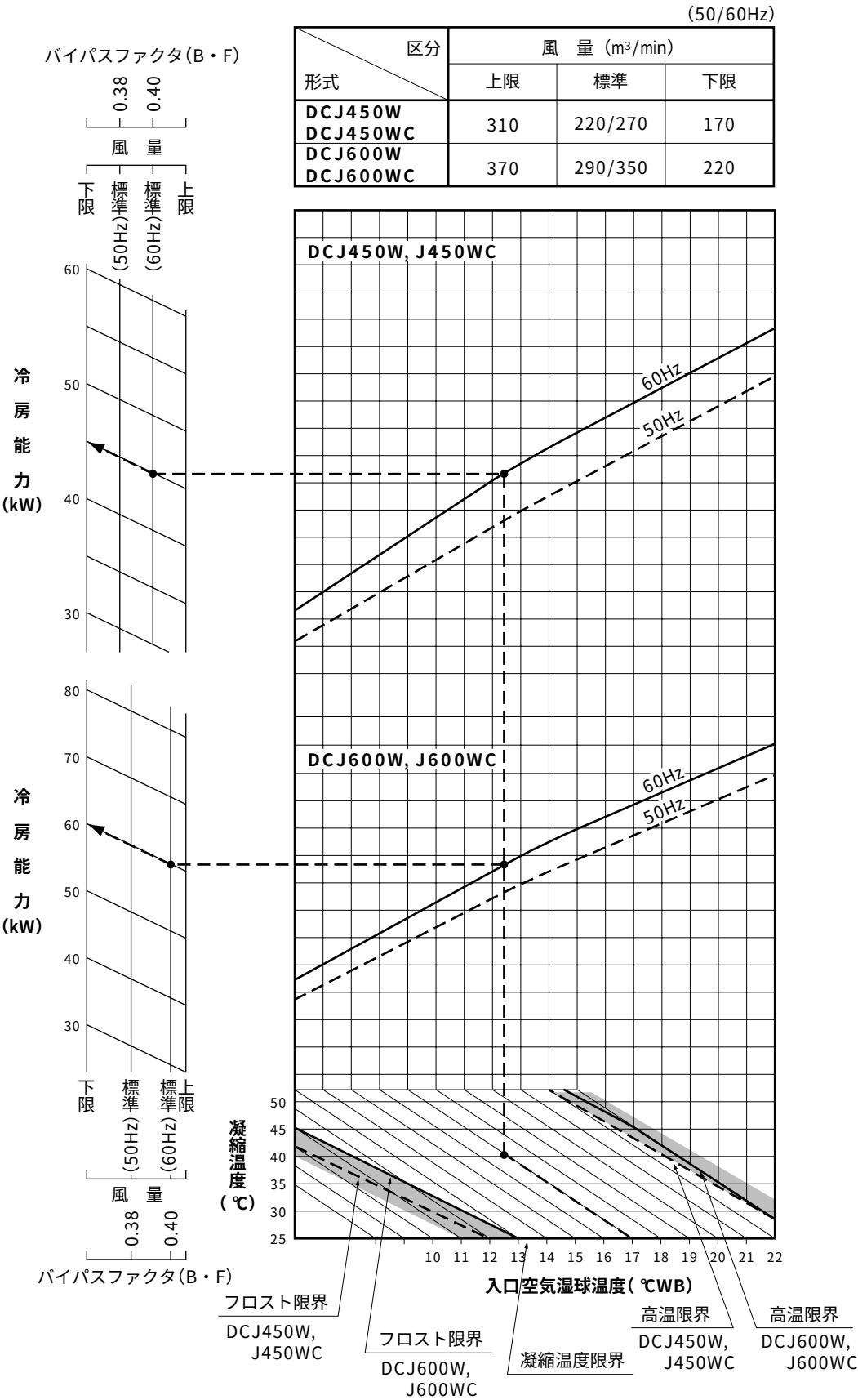
3.4.7 能力特性

DCJ300W

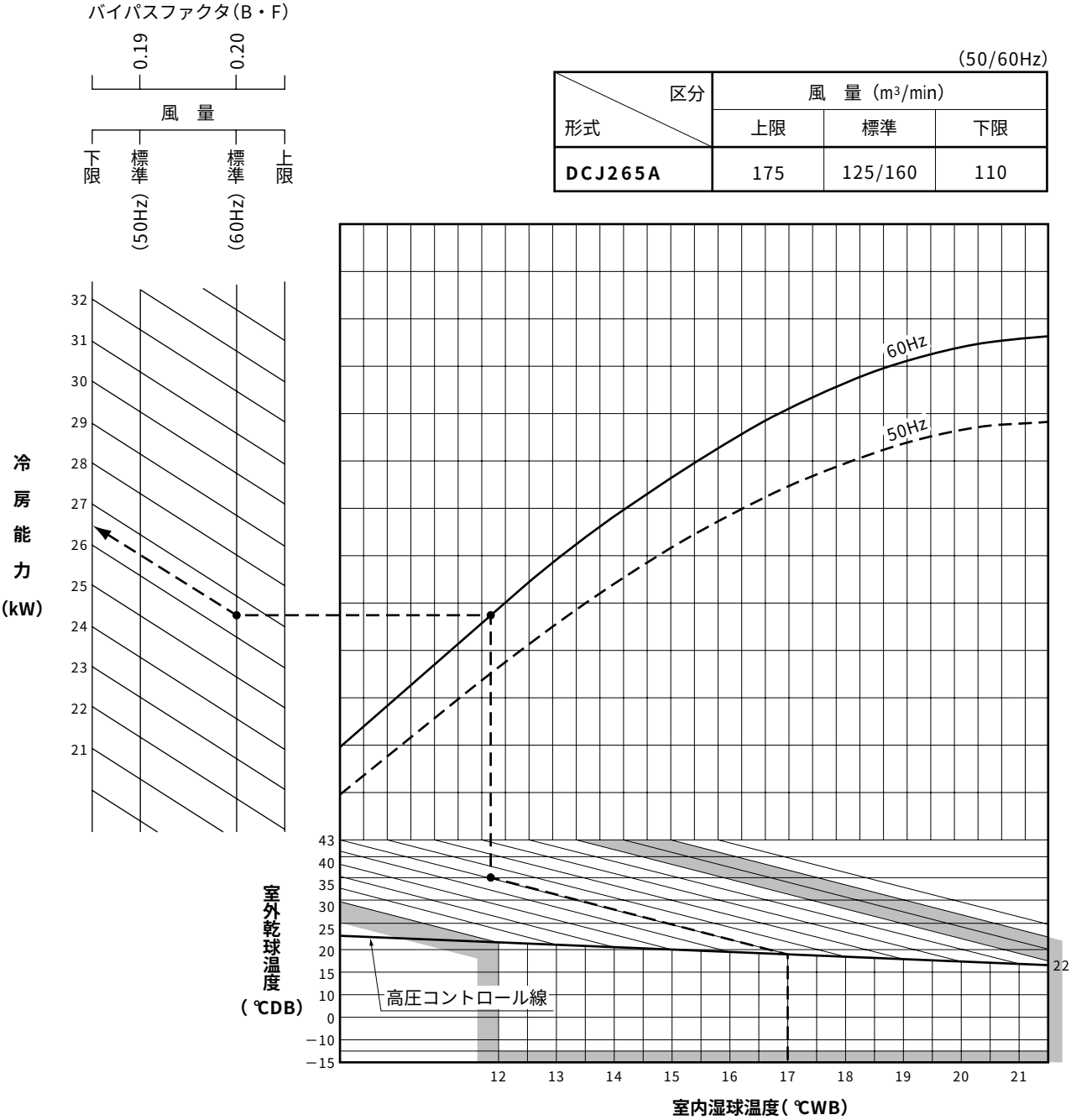


DCJ450W, 450WC, 600W, 600WC, 900W, 900WC

(DCJ900W, 900WCは450W, 450WCの倍の能力です。)



DCJ265A



配管距離による能力補正

冷媒配管長（室内，室外ユニット間の配管の片道長）により，冷房能力の補正が必要です。

正味能力＝図表の能力×補正係数

補正係数

運 転	相当長m	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65
冷 房		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.995	0.995	0.99	0.99	0.985	0.985	0.98	0.98

注(1) 相当長は下式により計算してください。但し相当長としてそれぞれの形式の配管距離制限長さ+5m以内となるよう設置してください。

ユニット容量

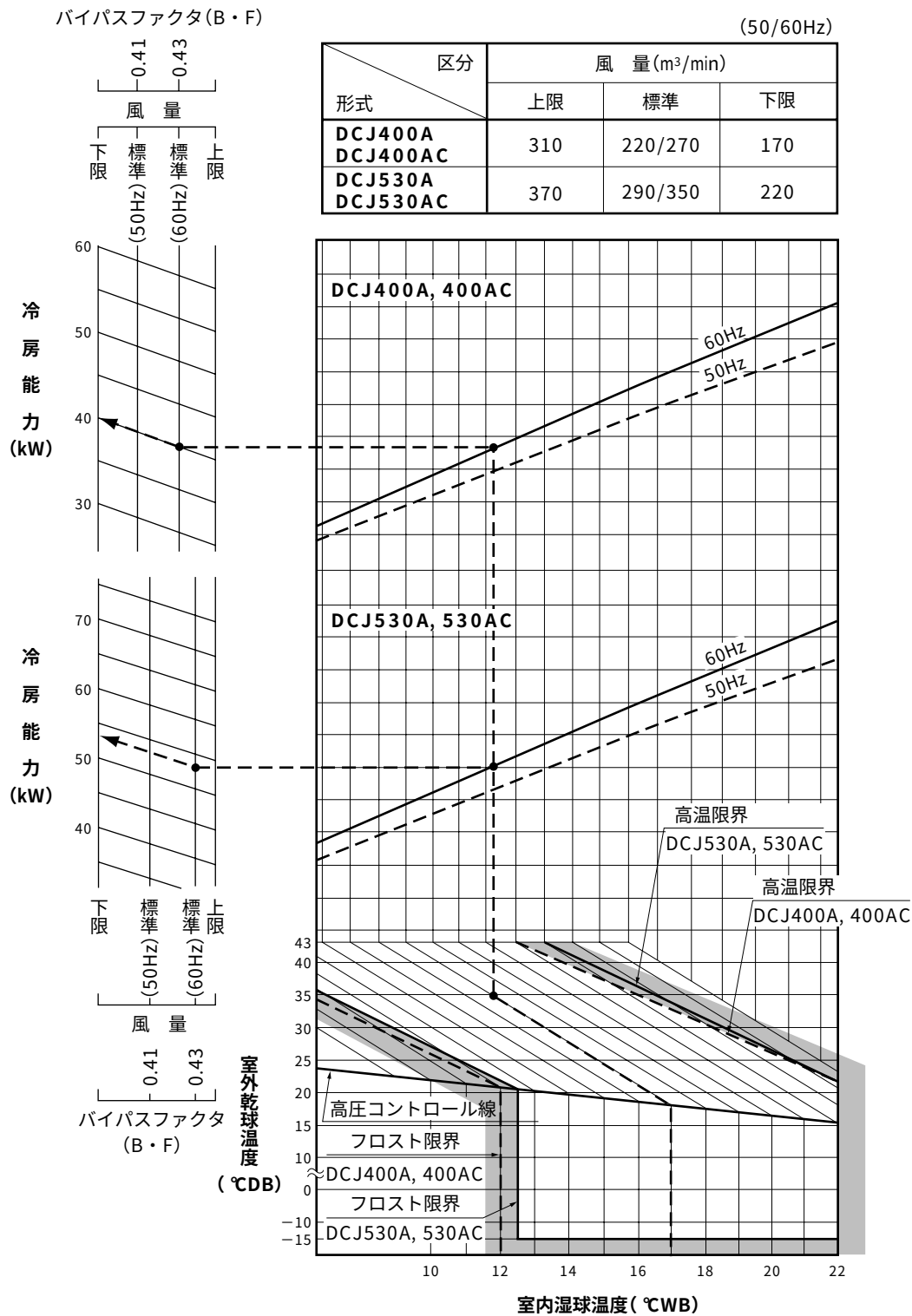
- ・ J265 相当長＝実長＋(0.1 ×途中配管バンド数)
- ・ J400, J800 相当長＝実長＋(0.15× ")
- ・ J530 相当長＝実長＋(0.15× ")

尚，室外ユニットが室内ユニットの下部にある場合その高さにより上表の値は下記の数値を差し引いてください。

室内，外ユニットの高さ方向の差m	5	10	15
調 整 係 数	0.01	0.02	0.03

DCJ400A, 400AC, 530A, 530AC, 800A, 800AC

(DCJ800A, 800ACは400A, 400ACの倍の能力です。)



能力は配管距離等により補正する必要があります。能力補正係数については前ページをご覧ください。

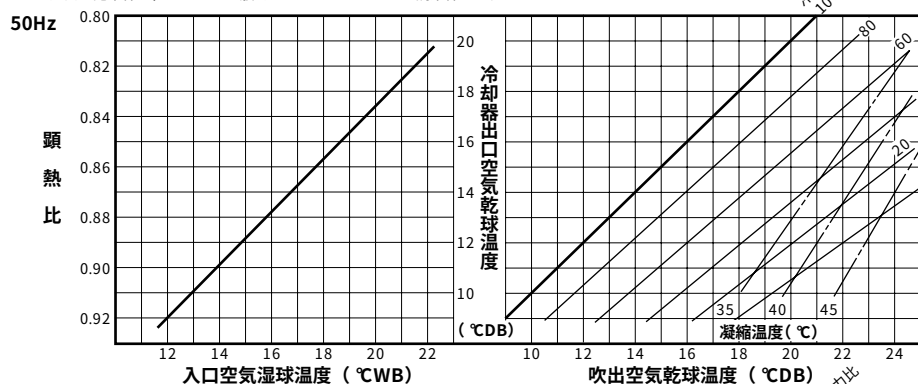
吹出空気温度の求め方

下図は次の条件で運転した場合にパッケージの吹出空気条件を求める図です。

DCJ300W

条件 入口空気相対湿度：50% 風量：標準 凝縮温度：40℃

注(1)上記条件は、もっとも一般的なコンピュータ室の空調条件です。



図の説明

- 下記の事項が求められます。
 - ①冷却器出口空気乾球温度
 - ②顕熱比
 - ③これより空気線図を用いて①との関連で冷却器出口空気湿球温度を得る。
(入口空気の相対湿度：50%)
 - ④吹出空気温度
乾球温度：設定温度より
 - ⑤湿球温度：空気線図を用いて③より加熱の動作で求める。
- 吹出空気の再熱可能温度の目安
一点鎖線で示し凝縮温度によって異なり各々の上限を示します。
- 冷房能力比
能力特性の項(226ページ)より求める冷房能力に対する比率を示します。

例

DCJ300W, 60Hz

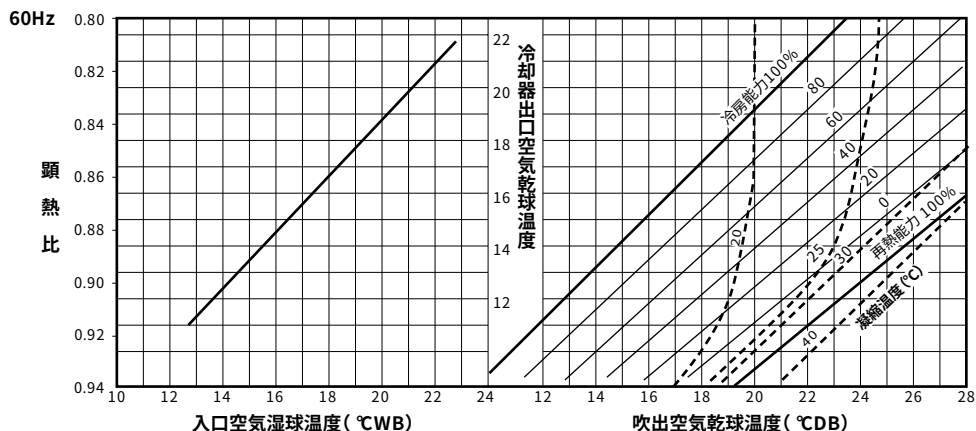
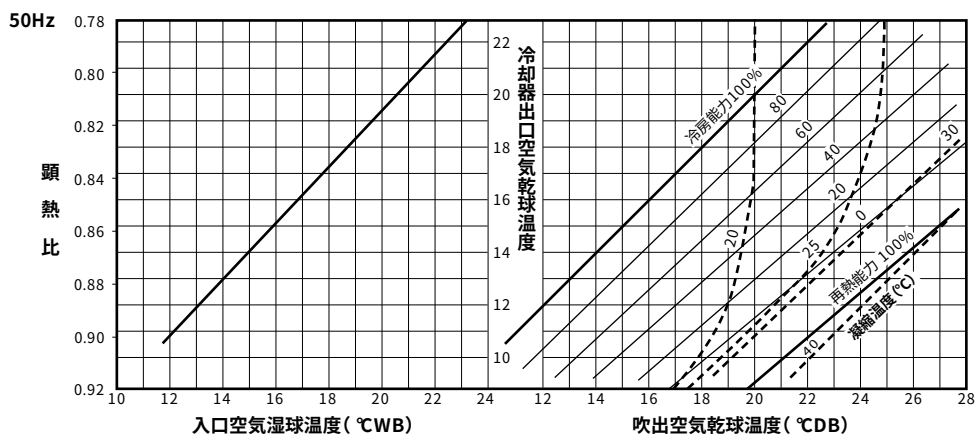
入口空気湿球温度16.5℃ } の場合の各事項を
サーモ設定温度18℃ } 得る。

- ①冷却器出口空気乾球温度：14.3℃
- ②顕熱比：0.897
- ③冷却器出口空気湿球温度：12.7℃
(空気線図使用)
- ④吹出空気温度
乾球温度：18℃DB(サーモ設定値)
湿球温度：14.2℃CWB(空気線図上で③より加熱で)
相対湿度：66%(空気線図使用)
- ⑤冷房能力比：65%
これを用いて冷房能力は能力特性より29.5kWであるため
 $29.5 \times 0.65 = 19.2\text{kW}$ を得る

DCJ450W, 450WC, 600W, 600WC, 900W, 900WC

条件 入口空気相対湿度：50%⁽¹⁾ 風量：標準 冷却水入口温度：30℃

注(1)上記条件は、もっとも一般的なコンピュータ室の空調条件です。

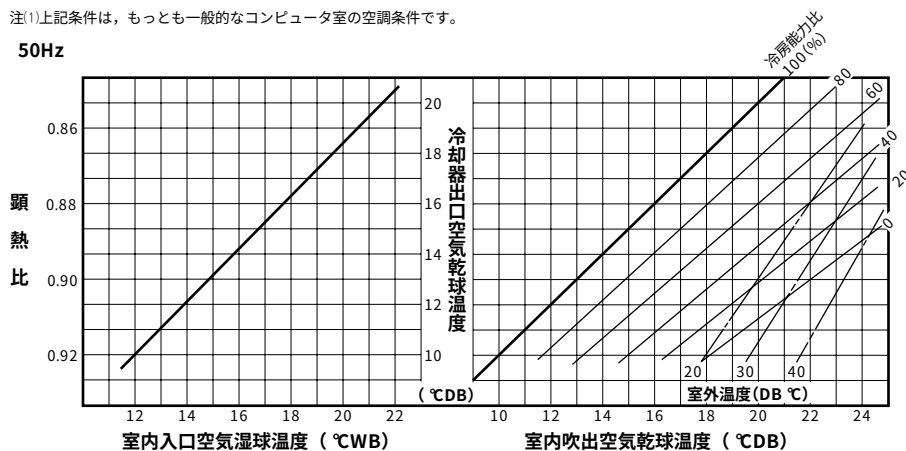


DCJ265A

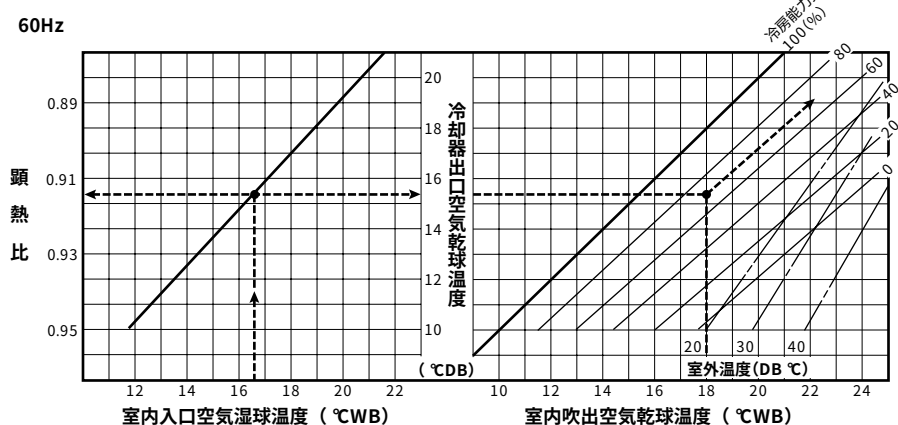
条件 室内入口空気相対温度：50%⁽¹⁾ 風量：標準 室外空気乾球温度：35℃

注⁽¹⁾上記条件は、もっとも一般的なコンピュータ室の空調条件です。

50Hz

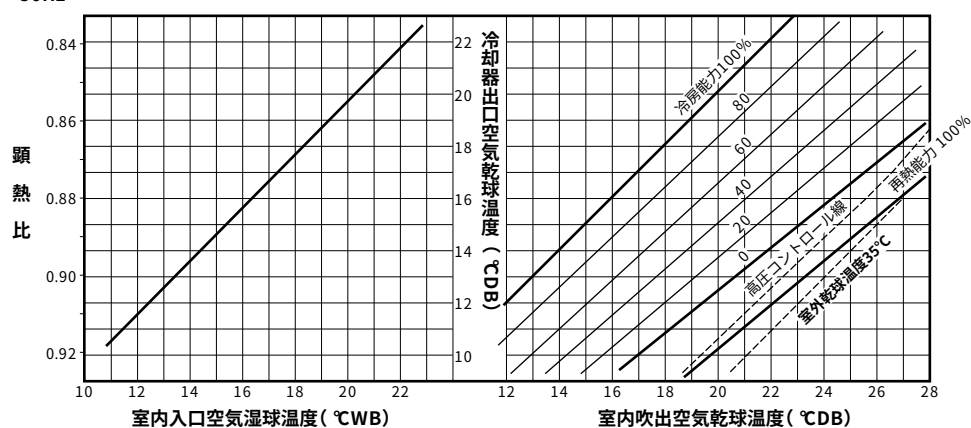


60Hz



DCJ400A, 400AC, 530A, 530AC, 800A, 800AC

50Hz



60Hz

